

22PO-am385

京都薬科大学同窓会「京薬会」による薬剤師キャリアパス支援のための「リカレント研修プログラム」の実践

○高尾 郁子^{1,2}, 川島 弓枝², 川島 英美², 三上 正², 三上 由美², 西野 武志², 高山 明² (1京都薬大 学生実習支援センター, 2京薬会)

【目的】京都薬科大学の同窓会である「京薬会」は、2016年度より出産・育児による離職者や転職希望者を対象に、薬剤師として社会復帰をするための足掛かりを支援する目的で「リカレント研修プログラム」を開講している。本発表ではその実施概要と成果について報告する。

【方法】リカレント研修カリキュラムは、京都薬科大学出身の現役薬剤師と大学教員が協働し立案した。医療現場で必要となる基本的な知識・技能の習得を目標に、「調剤」、「リスクマネジメント」、「疑義照会」、「医療コミュニケーション」の他、医師による「最新の治療」、「検査値の読み方」等の講義や演習、実習を取り入れ、理論と実践が結び付けられるよう工夫した。大学施設での研修は4日間14コマとし、その後、希望者には薬局にて2日間の実務実習を行った。受講者のレディネスの確認や研修の評価は、研修前後のアンケート調査や再就職者数で評価した。

【結果・考察】今年度の参加者は17名で、そのうち6名が薬局実務実習を受講した。どの受講者のモチベーションも非常に高く、少人数ならではのコミュニケーションのとれた研修となった。またアンケート調査から本リカレント研修は再就職への後押しになったと評価しており、これまで3名が実際に再就職をした。再就職者が少ない原因として、受講者の中には既に薬局薬剤師として勤務している人や、現在企業に勤めておられ、将来のキャリアパスを考えた転職希望者が多かったことが挙げられるが、再就職予備軍は確実に増加していくと考えられる。本事業は薬剤師不足により業務に支障を来している病院および薬局への現場ニーズに見合った人材派遣の側面も持っていることから、今後、更に講義内容の評価・分析を行い、再就職に結びつけられる研修会を構築していく予定である。